

令和5年度農林水産総合センター「夏の体験教室」の開催状況について

農林水産総合センターでは、農林水産業への関心と理解を深めてもらうとともに、農林水産総合センターの業務を広く県民に紹介するため、児童や生徒等が農林水産物に関する実験や観察を行う「夏の体験教室」を開催しました。

夏休み期間中の7月22日（土）から8月18日（金）にかけて、県内5つの研究所や農業大学校で7つのテーマの体験教室を開催し、42組120人の児童や生徒、保護者の方に参加いただきました。

○牛を描く絵画大会（主催：畜産研究所）

日時：令和5年7月22日（土）

参加者 10組 35人

場所：美咲町北（畜産研究所（まきばの館））

内容：研究所の牛を見ながら絵を描き、牛と記念撮影をする。その後アイスクリーム作り体験を行う。



参加者からの感想

- ・近くで見る牛は、とても迫力があつた。
- ・暑い中で真剣に絵を描いた後に、アイスクリームを作る体験ができて、夏の思い出になった。 など

○遺伝子にふれてみよう！（主催：生物科学研究所）

日時：令和5年8月7日（月） 参加者2組4人

場所：吉備中央町吉川（生物科学研究所）

内容：PCRを利用した遺伝子分析、遺伝子組換え生物の観察や施設を見学する。



参加者からの感想

- ・教科書でしか見たことがなかった DNA の電気泳動や細菌のコロニーを生で見ることができて理解が深まり、面白かった。
- ・遺伝子の授業は少しだけでこんなに深く知ることがなかったので、驚くことばかりだった。
- ・将来、今日実験したようなことに携わりたいと思っているので、今日の体験を大学入試やその先に活かして頑張りたい。
- ・大変興味深い体験だった。医療や食品に技術がどのように関係するかも想像でき、多くの子供が体験できればキャリア教育につながると思う（保護者） など

○森の恵みを体験してみよう！（主催：森林研究所（林業研究室））

日時：令和5年8月8日（火） 参加者8組21人

場所：勝央町植月中（森林研究所）

内容：葉っぱを使ったスタンプやアクセサリーを作成する。



参加者からの感想

- ・実際に使える物を作れて楽しかった。
- ・レジンには経験があったが、植物を使ったのは初めてなので新鮮だった。
- ・来年も実施するなら参加したい。
- ・学名の意味や付け方に興味を持てた。 など

○木の良さを体験してみよう！（主催：森林研究所（木材加工研究室））

日時：令和5年8月10日（木） 参加者7組19人

場所：真庭市勝山（森林研究所（木材加工研究室））

内容：森林や木の話、ヒノキを使った木工体験や施設を見学する。



参加者からの感想

- ・子供にもっと実際の木に触れる機会を与えてやりたい。
- ・森林研究所の仕事や施設について知ることができた。
- ・林業の仕事を身に着けるために新しい技術が取り入れられていることが分かった。
- ・木材の町でもある真庭なので、どんどん木に触れる体験の場を設けても良い。 など

○キャベツの植え付けと収穫体験（主催：農業研究所（高冷地研究室））

日時：令和5年8月18日（金） 参加者4組11人

場所：真庭市蒜山東茅部（農業研究所高冷地研究室）

内容：蒜山特産の高原キャベツの植え付けと収穫の両方を体験する。



参加者からの感想

- ・キャベツの収穫は初めてだったので、体験できてよかった。
- ・家族みんなで作業することは少ないので、家族で体験できてよかった。
- ・キャベツがたくさん植えてあるところを見られてよかった。 など

○チリメンモンスターを探せ！（主催：水産研究所）

日時：令和5年8月18日（金） 参加者9組24人

場所：瀬戸内市牛窓町鹿忍（水産研究所）

内容：選別前のチリメンを使いフグやイカなどの稚魚を探す。



参加者からの感想

- ・夢中になってモンスターを探した。
- ・施設見学も含めて初めてで、とても楽しかった。また参加したい。
- ・育成の現場説明はとても勉強になった。
- ・顕微鏡で見たモンスターの説明が分かりやすく勉強になった。 など

○農業大学校の施設見学会（主催：農業大学校）

日時：令和5年8月15日（火）・16日（水） 参加者2組6人

場所：赤磐市東窪田（農業大学校）

内容：農業大学校の施設や、ほ場の見学



作業中の農業大学校の学生と直接接することができたことから、オープンキャンパスほどではないものの、農大の雰囲気を感じていただくことができた。